

絵手紙サークル 「絵綺」

1 サークル紹介について

絵手紙サークル「絵綺」を結成して、約3年がたちました。

(※ 米塚教室は、12年経過)

現在、40代から80代まで、30数名で活動しています。

絵手紙の勉強はもちろん、絵手紙を出し合ったり、情報を交換したりと、和気あいあい楽しんでいます。

興味のある方は、一度体験してみませんか？

サークル代表

古川（こがわ）栄津子

連絡先： 0143-87-1675

2 活動状況について

(1) 登別市市民活動センター（のぼりん）： 2階 市民活動室D

活動日時： 毎月第2木曜日・第4月曜日

9：30～11：45

(2) 米塚教室： 東室蘭西口 米塚ガラス

活動日時： 第1・第3水曜日

10：00～12：00

(3) 会 費： 1回につき 1,000円

(モチーフ代、はがき代、施設使用料を含む。)

3 絵手紙の作品製作について

(1) 筆の持ち方 その1

絵手紙は、線に想いを込めます。

気持ちを穂先に集中させるため、
筆の上の方を持ちましょう。

上を持つと描きにくいので、
「集中して描く」ことが、絵手紙の
基本です。



(2) 筆の持ち方 その2

筆の上の方を持って、真っすぐ立て、穂先2~3ミリだけで線を書きます。

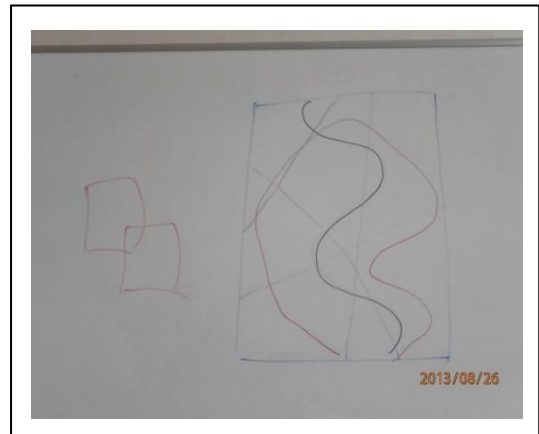
右の写真は、絵手紙を書く前に、集中力を高めるためのトレーニングです。



(3) 線を引き方

10センチの線を1分間かけて、ゆっくり線を引きます。

この線を引く要領で、絵手紙を描くこととなります。

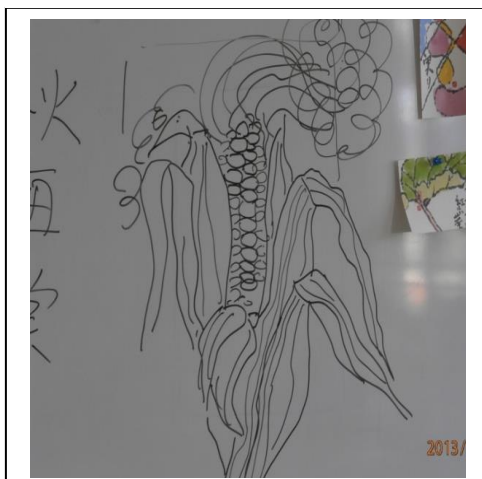


(4) 絵手紙の描き方 — 「よ〜く視ること」

絵手紙は、「よ〜く視ること」から、始まります。

「上手く描こう」などと、思わないこと。 多少、歪んでも、震えても良いんです。

集中した線で、大きくはみ出すように、描きます。



(5) 絵手紙の絵の具 — 「顔彩」

絵手紙の絵の具は「顔彩」を使います。
彩色筆に、適量の水を含ませ、使いたい色を取り、梅皿に移します。
色ムラができないように、筆で良く混ぜ、穂先全体に馴染ませます。
滲んでも、はみ出しても良いので、軽く元気にたたくようにします。
色は、実物どおりでなくても良いので、明るく、みずみずしい色使いに
しましょう。



(6) その他の注意事項

- ① 絵手紙は、言葉が大事です。
自分の言葉、普段着の言葉を、短く入れます。
- ② 「落款」を押します。心を込めて、しっかりと。
印は、あなたの顔です。
- ③ 絵手紙には、賞味期限があります。
描いたら、直ぐにポスト・インしましょう。

※ 絵手紙は、上手・下手の問題ではありません。

何より、心を込めて描くことが大事です。

お互いに、頑張りましょう!!